

第1回 高1トップレベル記述模試 国語 採点基準

《全問題共通のルール》

解答欄からはみ出た答案 0点

文章が途中で終わり、最後まで書かれていないもの 0点

誤字 1箇所につき1点減点。

ただし、同じ漢字は、同じ大問で1度のみ減点とする。

脱字 1箇所につき1点減点。

() 「行つ」「行なう」など二通りの送り仮名は認める 減点なし

() 「見れる」「など」「いぬき言葉」と「笑つてる」「など」「いぬき言葉」は脱字扱い
は誤りの箇所をチェックを入れること。

記述問題における文末の「。」

字数制限がない場合 減点なし

字数制限がある場合

(1) () 「。」が文末にない時 1点減点 () 「句点なし」と明記

(2) () 最後のマスに「。」と文字が同居している時 0点 () 「字数超過」と明記

字数制限のある問題での字数超過 0点 () 「字数超過」と明記

四十一字以上の字数制限問題における字数不足。

50%未満の解答 0点 (50%以上の解答が採点対象)

四十字以下の字数制限問題における字数不足 減点せず。

主語・述語の不備。文末不備など表現未熟 1点減点 () 「表現未熟」「文末不適」と明記。

□

問一 各1点 (解答通り)

(才)は送り仮名が入っていてもOK

ア	壊滅 (潰滅)もOK	イ	がれき
ウ	切迫 「迫」注意 × 「追」	エ	せりふ
オ	繕 「う」が付いていても可	カ	喪失 「喪」注意
キ	すべ	ク	警告

問二 3点

A (2点)

B (1点)

(模範解答例)夏にやり終えたことが何ひとつない

私たちを嘲笑うように秋がきた

ということ。

(35字)

字数不足は問わない。

文末表現は不問。

・要素Aについて

「夏にやり終えたことがない」という内容があれば可。

「夏に」がない場合

・ 「秋がきた」という内容がどこかにあれば不問。

・ 「秋がきた」がない場合は、マイナス1。

・要素Bについて

「嘲笑う」が必須要素。

同意の意味であれば可。

例 「皮肉るように笑う」「小ばかにして笑う」

A (2点)

B (1点)

(解答例1) 秋は何もやり終えたことのない夏の次に来て人を嘲笑うから。

(3点)

A (2点)

Bなし (0点)

(解答例2) 何もできずに夏が去り、秋がきたことの切迫感を強調する真意。

(2点)

問四 6点

A (2点)

(模範解答例)

日本の、西欧的で新しいものなら何でもよいとする価値観と

B1) B2がありこの要素がない時はマイナス1)

日常生活の中で時間の速度が速くなり、

B2) (2点)

たえず緊張して生きることをよいとする価値観に 墮した浅薄な「近代」を、

C) (必須) (2点)

古語を使用するという道化の精神によってからかい、否定しようとしたから。

(115字)

六十字以下は0点。

文末「から」「ため」「」ので「などになっていないもの

マイナス1。

・要素C 「日本の」「近代」を「否定」が必須。

最初にこの基盤になっているかを確認する。

「近代日本」「近代の日本を」などとなっているてもOK。

「拒否」「嫌悪」など明白なネガティブな記述であれば可。

Cの要素がない場合 問4は0点

・ただし、「嘲笑」は本文の抽象的言葉をそのまま引用したので 1点

「からかう」「警告」等 1点

・要素A

同意であれば可

「物真似」としか書いていないもの 0点

・要素B

B2があつてB1があるものが 2点

B2があつてB1がないもの 1点

B1があるがB2がないもの 0点

問六 3点

A (1点) B (2点)

(模範解答例) 心の奥底に自然と呼応するリズムを持つている状況。

(24字)

・文末「状況」となっていないもの マイナス1

・Bが必須。Bがない答えは0点。

・要素A 「心」という内容で 1点

・要素B 「自然に呼応するリズム」という内容で 2点

問八 6点

(模範解答例) 震災後、急速に復興しつつある東京の秋を、

C (2点)

必須A

近代都市の秋ととらえるのではなく、

D (2点)

典型的な日本の農村の秋のイメージととらえ比較することで、

必須B (2点)

近代化が実は表面だけで中身が空っぽであることに気づかせようとした。(98字)

文末表現不問。

五十字以下は 0点。

まず最初に

必須A 「ではなく」がある答案だけ採点する。 ない場合 0点

次に

必須B 「近代化が…空っぽである」「近代化は中身がない」「近代化は表面だけだ」という

要素が必須。 ない場合 0点

この部分に「近代」が抜けている 1点、 あれば必ず 2点

その上で細部の採点

要素C

「近代」「都市」と「とらえ(ない)」「考え(ない)」という内容で 2点

要素D

「農村」と「とらえる」「考える」という内容で 2点

要素CDについて

このラインで採点をお願いします。言葉は同意であれば可。

三

問一 3点

(解答) 9・11テロの被害者たち

- ・「テロの被害者」が入っていればOK
- ・「被害者」は「犠牲者」「死傷者」「死者」などでもよい。
- ・「たち」という複数形は不問。

問二 6点

B (1点)

(模範解答例) 主人公が、アメリカを長く離れたため、

必須A (3点)

C (2点)

日本人としてもものを考えるように、無意識になつてきている状況。

(48字)

文末表現未熟 マイナス1

二十五字以下 0点

・必須A

「日本人として…考える」「日本人として考えが浮かぶ」「日本人として…見る」「アメリカ人でない第三者として見る」「日本的な価値観で考える」

などの要素が必須(「日本」と限定せずとも「アメリカ人」を否定していれば可)

3点

たんに「第三者」として「アメリカ人」を否定していないもの 1点

この要素がない場合 問二は0点

・要素B

「アメリカを長く離れた」「アメリカに住んでいない」「外国にいた」「日本に住んでいた」などの理由づけがある 1点

・要素C

「無意識」「知らず知らずに」「身に付いていた」「自然」の要素 2点

つまり 必須A + B 4点

必須A + C 5点

(解答例1) B

A

C

主人公はアメリカを去つていたため、アメリカ人的な考えが自然にできなくなった状況。(6点)

(解答例2) B

A

長い間日本において、「日本語」で考え、日本人の価値観でみるようになった状況。(4点)
問三 6点

必須A (3点)

B (3点)

(模範解答例) あくまでもキリスト教が主であり、他の宗教はアメリカの対外的な言い訳のための存在である。(43字)

文末表現不問

二十五字以下 0点

・必須A

「キリスト教が主」「キリスト教中心」などが最適だが、
「アメリカが主」「アメリカのみを考え」なども可。
つまり「キリスト教」や「アメリカ」側からしか見ていないことが書かれていれば可。

・要素B

「外部」「外国」への「言い訳」「ごまかし」「美化」「表面上の理解」「飾り」などマイナス要素があれば可。

ただし外部への「目」を意識した解答になっていないもの 1点

A (3点)

(解答例1) ここではキリスト教が中心であり、

B (2点)

宗教の違うラビやムラーは取るにたらないものであるとみなされている。(5点)

A (3点)

(解答例2) アメリカではキリスト教徒が大多数であり、

B (3点) 「外部への『目』」は読み取れる

その他はあくまでも少数派を否定しないうちだけの存在である。(6点)

問四 10点

B (2点)

(模範解答例) 「十一日の恐さ」は、アメリカにテロを仕掛けたテロリストに対する怖さであるが、

C (2点)

「別の怖さ」とは、自分を始めとして周囲は変化しているのに全く変化を見せない

D (3点)

大統領たちへの怖さであり、その変化に気づくことなく、また被害者たちに配慮を

A 2

必須A 1 (3点)

せず強気な発言をしていることに対して、外国人として言い知れぬ不満を抱いた。

(154字)

文末表現不問。

七十五字以下は

0点

・必須A1

「不満」「不安」「嫌悪感」など不快の念を示す心情が明示されていることが絶対条件。

これがあれば 3点

ない場合は 問四は0点

「疎外感」 問四は0点 (アメリカを肯定していることになってしまう)

「孤立感」「孤独感」 1点 (肯定はしていず、「淋しさ」の説明にはなっている)

ただし、「外国人として」というアメリカから退いた見方・視線(＝A2)のみが不足している

マイナス1で2点とする。

・要素B

「テロリスト」に対する恐怖を意味していれば2点。

「9・11テロを起こした人たち」なども可。

・要素C

「大統領たちへ怖さ」が だが、

「アメリカ人への怖さ」など「アメリカ」全体、「アメリカという国家」に広げた解答も可。

「絶対的な考え」とか「強固な意志」などアメリカが特定できないものは 0点

・要素D

「変化に気づかない」という要素があれば 3点

「以前と同様に」なども「変化」していないと考えてよい。 3点

ただし、「のどかに」「のんびりと」「他人事として」などは、「変化」に言及していないので、不十分と判断する。 1点

三

問一 各2点

(模範解答例)

(1) たくさんいる ・ 大勢いる

「たくさん」「大勢」「多く」などの多数を意味する言葉が不可欠。

(2) なんとかして帰ろう ・ どうにかして帰りたい

「む」の訳が意志で訳されていれば1点を与える。

(その上で)

「いかで」の訳ができていては5点に1点。

(7) お忘れになってしまったので ・ お忘れなさってしまったので

「給ひ」を尊敬語で訳している

「ぬれ」を完了で訳している

「ば」を「ので」「から」「ため」と原因用法にして訳している。

それぞれの要素が3つあれば2点、二つで1点、一つ以下は0点。

問二 3点

A (1点)

B (1点)

C (1点)

(模範解答例) () 男は (女と別れる) ことが じつじつ 帰る こと は どう も でき な か った ので

・要素A 補充部分 1点

「別れ」が「辛い・苦しい・嫌だ」と明確な心情を述べていることが条件。

・要素B

「かたかり」の訳ができていて 1点

「困難で」「でも許容

・要素C 「ので」「ため」「から」で1点

問三 3点

動詞・連用形 助詞 動詞・連体形

(模範解答例) 渡り ぞ かぬ

・渡り、 動詞・連用形 両方できていて 1点

・ぞ、 助詞 1点

・かぬ、 動詞・連体形 両方できていて 1点

問五 4点

(模範解答例) 男が帰宅してしまい、自分一人残され涙がとまらないほど別れが悲しい心情。

A (2点)

B (2点)

(35字)

(別解)

男が帰宅し自分一人になり、別れが辛くて涙がとまらないほどの強い愛情。

文末は名詞で終わっていること。「愛情」「心情」「気持ち」「ではなく」「こと」「でも可」。
字数不足は不問。

A (2点)

B (2点)

・要素A 「一人ぼっち」となっていることがわかる 2点

「孤独感」なども可。

・要素B 「別れが」「辛い・悲しい・苦しい・寂しい」など心情が明記されている 2点

「嫌だ」「不快だ」などは不可。

問七 2点

(解答) 別の、新しい恋の歌

・「歌」「和歌」は必須。

・「別の」「異なる」か「新しい」のどちらかがあれば、「恋」がなくても可。
すなわち、「別の歌」「異なる歌」「新しい歌」等も可。

また、「女への返し歌」「女への返歌」も許容。「返し歌」「女への歌」は不可。

問八 5点

A (1点)

B (1点)

(模範解答例) 別れが辛くて 未練はあったが、

C (1点)

D (1点)

E (1点)

人影が見えたため自分の訪問が他者に露見しては好ましくないと考えたので。

(49字)

文末表現未熟 マイナス1。

二十五字以下 問八は0点。

・Aの要素

「別れが辛い」との要素 1点

「別れが嫌だ」等も許容

・Bの要素

「未練」「別れへの躊躇」「帰宅へのためらい」などの要素 1点

・Cの要素

「人影が見えた」「人がいた」など他者の様子に言及していることが条件 1点

・Dの要素

「訪問が露見すること」という要素 1点

・Eの要素

「好ましくない」「恐れる」「危険を感じた」など 1点

問十 5点

A (2点)

B (1点) C (1点)

(模範解答例) 他人に分からないうちにあなたの訪問が途絶えたのならば、辛い ながらも

D (1点) E (1点)

(あなたとの関係は) 根拠のない噂だと せめて言つつもりでしたのに。

A (2点)

(別解) あなたとの関係が誰にも知られないうちに終わったのならば、

B (1点) C (1点) D (1点)

E (1点)

悲しみに嘆き つつも せめてあなたとのことは根拠のない噂だと言つつもりでしたのに。

「ならば」「等の仮想条件」「ましかば」の訳出は必須 これがない訳は 問十は0点

高一の試験であるので、「ましかば…まし」の完答は求めない。

・A～Eの要素で6点分あるので、5点から要素がないたびに引いていく。

(例) ABCの要素がある。 DEの2点分が不足 3点となる。

・Aの要素

A 「関係が終わった」「訪問が途絶えた」など男がこなくなる記述 1点

A 「誰にもわからない」など「露見しないことを述べた記述 1点」の二分割で採点する。

「やむ」の訳が「秘密裏」に終わる(「など不適切な場合 A は0点

・Bの要素

「わび」の訳出 「辛い」「苦しい」など 「悲しい」なども許容。

・Cの要素

「つつ」の訳出 逆接になっていれば可。

・Dの要素

「だに」の訳出 「せめて…言つ」という修飾関係で訳してあること。

・Eの要素

「まし」の訳出 「のに」「はずだった」など「嘆きの表現」になっていること。

問十一 2点

(解答) 伊勢の御息所

・「女」 0点 「伊勢」 0点 「御息所」 1点
・「藤原継蔭の娘」「継蔭の娘」 2点

問十二 2点

(解答) かわいい ・ いとしい ・ 愛しい ・ 愛らしい など

・「情緒がある」「趣深い」「感動的だ」など他の「あはれ」の訳のものは不可。

問十三 5点

A (1点)

B (2点)

(模範解答例)

男が女のもとに通う形態であるが、周囲の人に知られないようにひそかに通い、

C (2点)

夜明け前に人々が寝静まっているうちに帰宅する という婚姻形態だった。

(69字)

・Aの要素は「男が女の家に行く」という内容がわかれば可。

・Bの要素は「周囲に分からないように」「ひそかに」「こっそりと」の要素片方であり。

・Cの要素は「夜明け前に帰宅する」「寝静まっているうちに帰宅する」の要素片方があればよい。

「他の人にわからない時間(うち)」は可。

「他の人にわからないようにして」は不可(時間が条件となっていない)。